

私たちの学校

浜松啓陽高校

▽住所 浜松市北区三幸町421
▽生徒数 587人
▽題字 高柳梨さん(2年)

商業ってオモシロい



在学中はビジネスの基礎から専門知識までを学ぶ

商業科では、社会生活に必要なビジネス活動の基礎から、高校卒業後の進路先で役立つ専門的な知識や技術が学べます。マーケティング、マネジメント、会計、ビジネス情報の4分野。基礎から総合的なことまで幅広く扱います。普通科目と商業科目を6対4の割合で学びます。

まずビジネス基礎を

1年 前門利音
1年では、ビジネス基礎、簿記、情報処理を学びます。普段の授業が資格勉強にもつながっていて、いろいろな資格に挑戦します。検定試験が目に見える目標になって、モチベーションが上がります。また、商業の学習は、「高校ゼロスタート」です。私は、情報処理のエクセル操作が楽しくて、プログラミングを学び、将来はエンジニアになりたいと思っています。

すること、情報処理やビジネス文書の書類作成に役立つものなど、仕事するのに知っておかなければならないことが勉強できます。文化祭では、クラスで店を開き、商品の仕入れ、販売、広告など、楽しい経験ができます。

改善重ねて商品開発

3年 川坂知沙
商品開発の授業では、実際に商品を作ります。コンセプトを決め、ターゲットを絞ります。話し合いや工夫を重ねていくと、考える面白さを感じます。いろいろな角度でものを見ると問題点が見えてきて、それを改善していく力が付きます。外部の方とも関わることがあるので、言葉遣いや社会力も学べます。世の中には、たくさんのモノがあふれています。どれもいろいろな人の工夫や努力があると改めて感じています。

文化祭で学ぶ 商い

2年 天野菜月
商業科を選んだのは、将来の仕事に直接役立つ授業や体験ができると思ったからです。簿記、原価計算などの経営に関



◆学校の歩み◆

- 大正13年 荻原閑、浜松市下池川町に会計事務員養成所開校
- 昭和2年 浜松簿記学校と改称
- 20年 戦災で校舎焼失
- 21年 浜松市中沢町に移転、校舎再建
- 22年 浜松経理学校と改称
- 53年 浜松経理専門学校と改称
- 54年 九州商業高等学校と技能連携
- 平成9年 浜松市北区三幸町に移転
- 18年 浜松啓陽高等学校開校
- 27年 高校創立10周年記念式典挙行
- 令和6年 学園創立100周年式典(予定)



地域で役立つ人材へ

生徒特別座談会



令和三年度は、二百六十九人が一級相当の資格や検定に合格しました。学んだ知識、技術は検定試験でその実力が測れます。上級合格者にその魅力を尋ねました。(聞き手:村松真穂氏)

「資格」の魅力は？
青嶋風花 新しい知識がどんどん増えていくところですね。
松本将明 知らなかったことを知って、また次の疑問が出て、また勉強して新しい知識を得る。その繰り返しが好き。
河合康太 合格証書で自分の力が目に見える形で残るところが好き。たぶんあると頭が良さそうに見えるし(笑)
谷口朔葉 ゲームに似ています！ たぶん勉強してミッションに挑戦。クリアするけど、また次のミッションが。達成感がある。達成感の他に？
谷口 高校で初めて、勉強って楽しい！と思ったのは、検定のおかげ。成長が

資格取得 成長を実感

令和三年度は、二百六十九人が一級相当の資格や検定に合格しました。学んだ知識、技術は検定試験でその実力が測れます。上級合格者にその魅力を尋ねました。(聞き手:村松真穂氏)

「資格」の魅力は？
青嶋風花 新しい知識がどんどん増えていくところですね。
松本将明 知らなかったことを知って、また次の疑問が出て、また勉強して新しい知識を得る。その繰り返しが好き。
河合康太 合格証書で自分の力が目に見える形で残るところが好き。たぶんあると頭が良さそうに見えるし(笑)
谷口朔葉 ゲームに似ています！ たぶん勉強してミッションに挑戦。クリアするけど、また次のミッションが。達成感がある。達成感の他に？
谷口 高校で初めて、勉強って楽しい！と思ったのは、検定のおかげ。成長が

生徒会活動に達成感

生徒会活動 二年 村松真穂氏
二年生の時に生徒会に入り、後期からは生徒会長を務めています。エコキヤップ収集、昼の放送などをやる中で、一番力を入れたのは松風祭(文化祭)です。生徒会では、ムービー制作、正門の装飾、スタンブリーを行いました。たくさんの仕事を同時進行で、夜まで準備しました。やり終えた達成感や想像以上で、昨年までコロナ感染でできなかった生徒会行事でした。今年がテーマのとおり思いっきり「Enjoy」しました。



年一回、全校生徒で清掃をする都田テラノロード

通学路清掃 全校生徒で

環境美化委員長 三年 伊藤琉実
浜松市の「道路河川里親制度」により、都田テラノロードの里親となって一年になります。啓陽生の通学路「都田テラノロード」の約四キロという長い区間を、年一回、全校生徒約六百人で清掃します。郷土に感謝し、郷土を愛する気持ちを育てるボランティア活動です。高校卒業後、就職を希望する生徒が多い啓陽高校では、ビジネスに必要な「美化活動」を大切にしています。毎日十五分、校内清掃をしています。

私たちが作りました



学校の特徴や良いところが伝わるように話を集めました

自らを磨き 社会照らすように



青嶋甲子雄 校長
本校は、商業科の専門高等学校です。校訓は「誠実・忍耐・研鑽」。平成18年、浜松啓陽高等学校となり、令和6年には学園創立100周年を迎えます。校名の「啓陽」には、「人の道を教え、諭す。学びをもって社会を照らす」という意味の他、学校を迎え入れてくださった地域の方々への感謝の気持ちが込められています。校地は、満蒙開拓の時代にあった方々が、戦後、入植され、「満州の大地に沈む太陽」の様を、この三方原の地に思い出

されながらご労苦を重ねて拓かれた所と聞きます。そうした方々への感謝の気持ちを忘れまいと「陽」を添えました。教育目標の第一は、「地域産業に貢献できる人材育成」です。穏やかで落ち着いた校風。素直、真面目でやさしい自慢の生徒。「商業」に関する資格取得をはじめ、行事や部活動によってバランスよく学ぶ中で自分の持ち味を知り、「仕事」で生かせる力の習得を目指しています。近年は、卒業後の進路も多様になり、そのいずれにも懇切丁寧に応える学校でありたいと思っております。

もう一つの学校生活



文化祭の中心になった生徒会

チーム連携の妙

男子バレーボール部 三年 内山隼弥
目標は、県大会で勝つこと。達成には高い技術とメンタルの判断と「連携」が面白いです。

県総体5位努力の結果



県大会での勝利を目指す男子バレーボール部



県高校総体で団体5位の成績を残した卓球部

卓球部 三年 久野清羽
県総体団体5位でした。苦手の練習も嫌がらずにできた結果だと思っています。卓球は、努力の結果が出せるスポーツです。動く範囲が狭いので、軽いスポーツだと思われそうですが、勝つには体力が必要です。顧問の先生は、一切手を抜かない厳しいところがありますが、面白いところもあって、誠実に行動する大切さを学びました。来年、私は就職です。卓球も続け、先輩方のレベルに追いつけるよう頑張りたいと思っています。